（参考様式４）

事業所名　　にこやかハウス

作成日：　　令和6年9月13日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	28	食事までの時間が退屈だったり、落ち着かなくなることが多い。	食事を提供されているのではなく自分たちで支度、片づけをしている実感を持っていただき支度と食べることの両方を楽しんでいただきたい。	野菜を洗う、切る、剥くなど又はおしぼりを配るテーブルを拭くなど片付けで食器を洗う拭くなどその人に出来ることを行って頂き感謝をお互いに伝える。	6ヶ月
2	24	入居者様の急変時や事故発生時の対応の仕方をある程度想定し実際起こった時に慌てない様に職員全体で共有したい。	全職員が緊急時や事故発生時に適切な対応が出来るようになる。	カンファで勉強会を行う。緊急時の対応についてわかりやすくまとめ掲示する。	6ヶ月
	28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている		
	24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている		

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。